

令和4年度病害虫発生予報第9号（1月予報）概要表

令和4年12月22日
埼玉県病害虫防除所

作物名・病害虫名	予報内容	
	発生時期	発生量
<u>1 麦</u>		
(1) ムギダニ		並
<u>2 トマト</u>		
(1) 灰色かび病		並
(2) 葉かび病		並
(3) 黄化葉巻病		やや少
(4) アザミウマ類		並*
(5) コナジラミ類		並
<u>3 きゅうり（冬春栽培）</u>		
(1) ベと病		並
(2) 灰色かび病		並*
(3) アザミウマ類		並*
(4) コナジラミ類		並
<u>4 いちご（本ぼ）</u>		
(1) 灰色かび病		多
(2) うどんこ病		並
(3) アザミウマ類		並
(4) ハダニ類		並

表の見方について

- ・ 予報の発生量は、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「少、やや少、並、やや多、多」の5段階で示しています。
- ※ 過去10年間で予報月に発生が確認されていない病害虫については、「発生が見られない」と予想した場合、予報の発生量を「並*」と示しています。
- ・ 予報の発生時期は、時期の予想ができる病害虫に限り、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「早、やや早、並、やや遅、遅」の5段階で示しています。

令和4年度病虫害発生予報第9号（1月予報）

令和4年12月22日
埼玉県病虫害防除所

1 麦

病虫害名	発生予想 (発生量)	予報の根拠	防除上注意すべき事項
ムギダニ	並	○12月中旬の発生量：－ □気象予報：気温は平年並か低い、降水量は少ない（±）	・第2世代成虫が出現する1月中旬以降の麦踏みは、生息密度低減効果が高い。

2 トマト

病虫害名	発生予想 (発生量)	予報の根拠	防除上注意すべき事項
灰色かび病	並	○12月中旬の発生量：散見 □気象予報：気温は平年並か低い、降水量は少ない（±）	・「病虫害診断のポイントと防除対策」（ 参照1 ）を参考に防除対策を実施する。
葉かび病	並	○12月中旬の発生量：散見 □気象予報：気温は平年並か低い、降水量は少ない（±）	・多湿により助長されるので、ハウス内の温湿度管理に注意する。
黄化葉巻病	やや少	○12月中旬の発生量：並 □12月中旬のコナジラミ類の発生量：散見（－）	・「病虫害診断のポイントと防除対策」（ 参照1 ）を参考に防除対策を実施する。
アザミウマ類	並※	○12月中旬の発生量：散見 □気象予報：気温は平年並か低い（±）	
コナジラミ類	並	○12月中旬の発生量：散見 □気象予報：気温は平年並か低い（±）	・本虫はトマト黄化葉巻病ウイルスを媒介するため、防除を徹底する。
【共通注意事項】 ・早期発見に努め、発生を確認したら速やかに薬剤による防除を実施する。 ・薬剤防除の際は、耐性菌・抵抗性害虫の発現を避けるため、作用機構が同じ剤の連用を避ける。			

参照1：病虫害診断のポイントと防除対策

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0916/point-h27kai.html>

表の見方について

- ・予報の発生量は、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「少、やや少、並、やや多、多」の5段階で示しています。
- ※ 過去10年間で予報月に発生が確認されていない病虫害については、「発生が見られない」と予想した場合、予報の発生量を「並※」と示しています。
- ・予報の発生時期は、時期の予想ができる病虫害に限り、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「早、やや早、並、やや遅、遅」の5段階で示しています。
- ・予報の根拠の○は現在の発生状況、■は今後の発生時期、□は今後の発生量に影響する要因を示し、（+）は助長または促進、（－）は抑制、（±）は傾向維持を意味します。

3 きゅうり（冬春栽培）

病害虫名	発生 予想 (発生量)	予報の根拠	防除上注意すべき事項
べと病	並	○12月中旬の発生量：－ □気象予報：気温は平年並か低い、降水量は少ない（±）	・「病害虫診断のポイントと防除対策」（ 参照1 ）を参考に防除対策を実施する。
灰色かび病	並*	○12月中旬の発生量：－ □気象予報：気温は平年並か低い、降水量は少ない（±）	・多湿により助長されるので、ハウス内の温湿度管理に注意する。
アザミウマ類	並*	○12月中旬の発生量：－ □前作の発生量：やや少（－） □気象予報：気温は平年並か低い（±）	・本虫は黄化えそ病ウイルスを媒介するため、防除を徹底する。
コナジラミ類	並	○12月中旬の発生量：－ □気象予報：気温は平年並か低い（±）	・本虫は退緑黄化病ウイルスを媒介するため、防除を徹底する。
【共通注意事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・購入苗の場合は到着時に病害虫の発生を十分確認する。 ・早期発見に努め、発生を確認したら速やかに薬剤による防除を実施する。 ・薬剤防除の際は、耐性菌・抵抗性害虫の発現を避けるため、作用機構が同じ剤の連用を避ける。 			

参照1：病害虫診断のポイントと防除対策

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0916/point-h27kai.html>

表の見方について

- ・ 予報の発生量は、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「少、やや少、並、やや多、多」の5段階で示しています。
- ※ 過去10年間で予報月に発生が確認されていない病害虫については、「発生が見られない」と予想した場合、予報の発生量を「並*」と示しています。
- ・ 予報の発生時期は、時期の予想ができる病害虫に限り、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「早、やや早、並、やや遅、遅」の5段階で示しています。
- ・ 予報の根拠の○は現在の発生状況、■は今後の発生時期、□は今後の発生量に影響する要因を示し、（+）は助長または促進、（－）は抑制、（±）は傾向維持を意味します。

4 いちご（本ぽ）

病虫害名	発生予想 (発生量)	予報の根拠	防除上注意すべき事項
灰色かび病	多	○12月中旬の発生量：多 □気象予報：気温は平年並か低い、降水量は少ない（±）	・多湿により助長されるので、温湿度管理に注意する。
うどんこ病	並	○12月中旬の発生量：並 □気象予報：気温は平年並か低い、降水量は少ない（±）	・草勢の衰えや茎葉の繁茂により助長されるので、適切な肥培管理を行う。
アザミウマ類	並	○12月中旬の発生量：散見 □気象予報：気温はほぼ平年か低い（±）	・ミツバチに影響があると考えられる薬剤は、使用時期に十分注意する。
ハダニ類	並	○12月中旬の発生量：並 □気象予報：気温はほぼ平年か低い（±）	
【共通注意事項】 ・早期発見に努め、発生を確認したら速やかに薬剤による防除を実施する。 ・薬剤防除の際は、耐性菌・抵抗性害虫の発現を避けるため、作用機構が同じ剤の連用を避ける。 ・生物農薬（天敵）を使用している場合は、悪影響がないよう薬剤の選択に注意する。			

< 農薬使用上の注意事項 >

- 1 農薬は、ラベルの記載内容を必ず守って使用する。
- 2 剤の使用回数、成分毎の総使用回数、使用量及び希釈倍数は使用の都度、確認する。
特に、蚕や魚に対して影響の強い農薬など、使用上注意を要する薬剤を用いる場合は、周辺への危被害防止対策に万全を期すること。
- 3 農薬を散布するときは、農薬が周辺に飛散しないよう注意する。
- 4 周辺の住民に配慮し、農薬使用の前に周知徹底する。
- 5 農薬の最新情報は、農薬登録情報提供システム（農林水産省）から検索できます。

農薬登録情報提供システム（農林水産省） <https://pesticide.maff.go.jp/>

表の見方について

- ・ 予報の発生量は、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「少、やや少、並、やや多、多」の5段階で示しています。
- ※ 過去10年間で予報月に発生が確認されていない病虫害については、「発生が見られない」と予想した場合、予報の発生量を「並※」と示しています。
- ・ 予報の発生時期は、時期の予想ができる病虫害に限り、予報月の平年値（埼玉県の過去10年間の平均）との比較で、「早、やや早、並、やや遅、遅」の5段階で示しています。
- ・ 予報の根拠の○は現在の発生状況、■は今後の発生時期、□は今後の発生量に影響する要因を示し、（+）は助長または促進、（-）は抑制、（±）は傾向維持を意味します。

2 気象概要 1 か月予報 (令和4年12月22日発表)

出典：気象庁ホームページ (https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/103_00.html)

<予報のポイント>

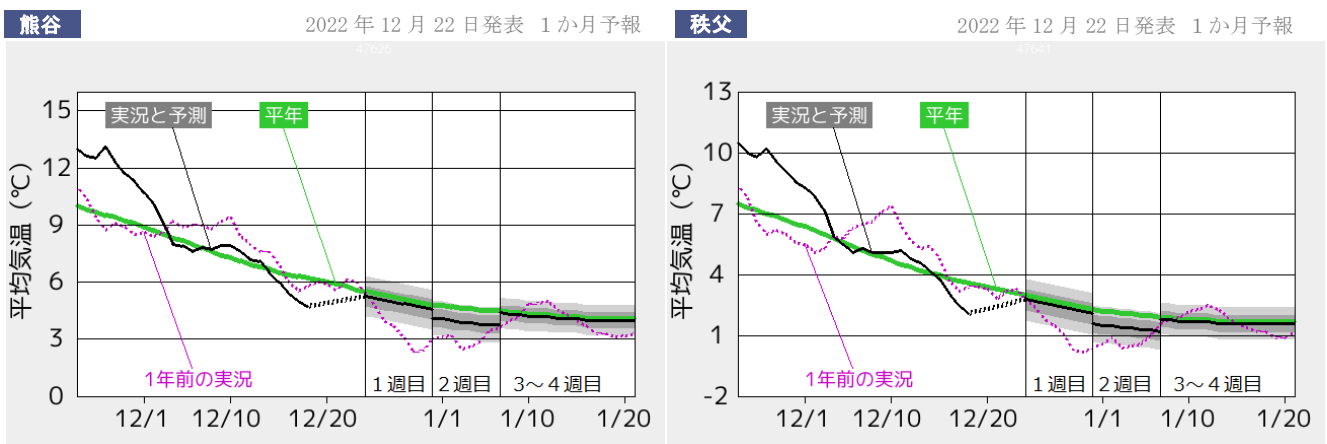
・向こう1か月の気温は、寒気の影響を受けやすいため平年並か低いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

【気温】 関東甲信地方	40	40	20
【降水量】 関東甲信地方	50	30	20
【日照時間】 関東甲信地方	20	30	50

凡例： ■ 低い (少ない) ■ 平年並 ■ 高い (多い)

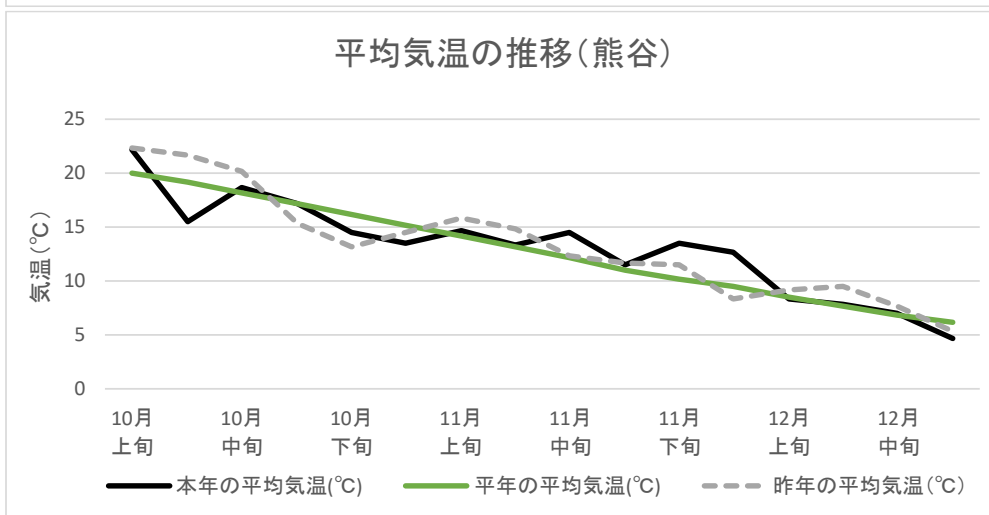
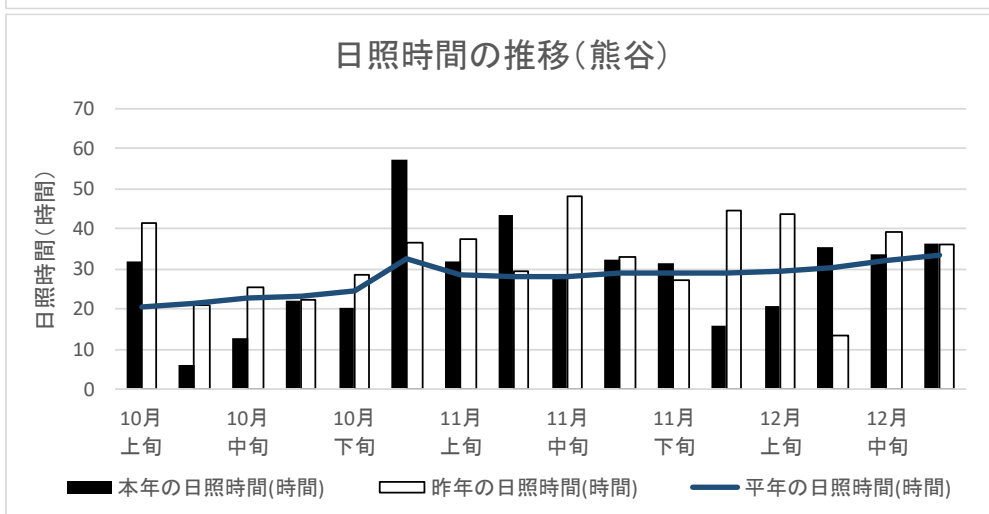
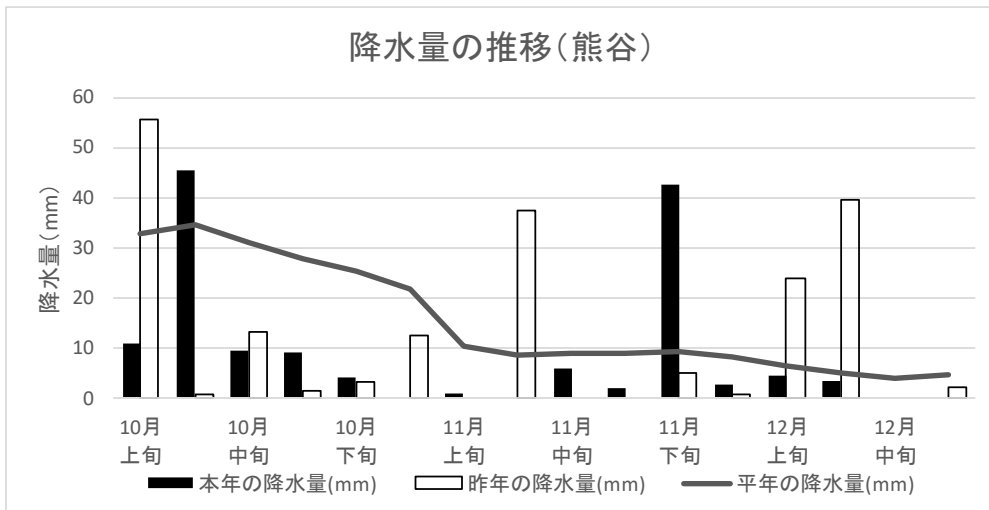
(参考資料1) 1 か月予報による気温の見通し (地点ごと)



図の見方

- 今年の実況(黒色の太い実線)** —————
7日間の平均気温(プロットする日からみて3日前から3日後までの7日間の平均気温)を示しています。
- 予想(太い実線と網がけ)** —————
予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを太線で表しています。また、信頼の程度が40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。>>> [詳細](#)
- 平年値(緑色の太い実線)** —————
平年値(1981~2010年の30年間の平均)を緑色の太い実線で示しています。
- 昨年の実況(紫色の点線)** - - - - -
昨年の実況値(7日間平均気温)を紫の点線で示しています。

(参考資料2) 過去の降水量、日照時間、平均気温



問い合わせ先
 埼玉県病虫害防除所
 〒360-0102 埼玉県熊谷市須賀広 784
 電話：048-539-0661 FAX：048-539-0663
 E-mail：k3603114@pref.saitama.lg.jp
<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0916/>